



子育てに力強い味方！

「ファミリー・サポート・センター」

「ファミリー・サポート・センター」とは、子育ての援助を受けた人(依頼会員)と子育てに協力できる人(援助会員)が会員となり、「一時的な育児を地域の中でお互いに助け合いながら援助活動を行う会員組織です。今回は、「ニャオざね」と「くま博士」が詳しくお話しします。

◆ファミリー・サポート・センター(熊谷市社会福祉協議会熊谷支所内) 048-521-0999
◆とも課 内線292

で検討し、熊谷市社会福祉協議会に運営を委託し、平成20年4月に「ファミリー・サポート・センター」ができたというわけじゃ。

「ファミリー・サポート・センター」の活用方法

「ファミリー・サポート・センター」ってどんなときに利用できるのにかや？

博士 そうじゃな。例えば、保育施設や塾までの送り迎えや、学校の放課後・児童

クラブ終了後の子どもたちの預かり、その他一時的な事情の際にも預かっておるぞ。

ニャオざね そりゃあ便利だにや！実家が遠くて子どもを預ける人がいらない時は、電話すればいいのにかや？

博士 電話して、援助会員の都合がつけば事前の打合せに入る。打合せは依頼会員と援助会員が社会福祉協議会に集まって行う。子ども連れでも大丈夫じゃ。

ニャオざね そうか。お互いに顔を会わせるんだにや。でも博士、打合せは社会福祉協議会に行かなければだめなのにかや？遠くて行く時間がにやい場合はどうすればいいにや？

博士 それについては事務局も考えておる。時には、預けたいママの家や預かる人の家でも打合せをしてくれるようにや。

ニャオざね にや〜るほど！忙しいママにはありがたいにや。博士 それと、ニャオざね。援助会員の話しによると、「援助会員さんの話によると、「援助以外でも、会うとママも子どもも元氣よく挨拶してくれる。手を振り、ニコッとした子ども笑顔が天使のようにかわいい！」と、言ってるそうじゃ。



お迎え援助



事前打合せの様子

会員になるには？

ニャオざね 子どもたちの笑顔ってホントかわいいもんじゃあ。ところで、会員になるにはどうしたらいいにや？

博士 会員になるには、①身分を証明するもの(保険証、運転免許証など)を持って、社会福祉協議会に行く。

②担当者と面接する。

③会員証の写真を撮る。以上じゃ。

ニャオざね ニャオざねも会員になりたいにや。ニャオざね写真大好きにや。毛並みを整えて行かなくちゃ。

博士 ニャオざね張切り切っておると残念じゃが、ニャオざねはまだ子どもだから、預けられるほうで、会員にはなれんぞ。

ニャオざね にや！ちよつとがっかりだにや。子どもたちと遊びたかったのに。ところで博士、会員ってどんな人たちがなれるのにかや？

博士 子どもを預けたい人(依頼会員)は、市内に在住か在勤の人で、6か月から小学6年生までの子どもをもつ保護者がなれる。

子育てに協力できる人(援助会員)は、市内在住で、学生以外の人ならOKじゃ。そして、両方会員というのもあってな。両方会員は、自分の子どもをみながら依

利用料金は？

ニャオざね ところで、利用料金っていくらにや？

博士 そんなに高くはないぞ。一時間700〜800円じゃ。その他に、おやつ代として一人につき一回50円、食事代は200円。車の送迎の燃料費はいただいでない。

ニャオざね にやに？ニャオざねのおやつ代より安いにや。一時間半の場合はいくらかにや？

博士 一時間当たり、預ける時間帯によって700円か800円。残り30分は半額の350円か400円。いずれにしても働くママたちにとってはありがたい話して、会員どうしの会話の中から子育ての悩みが解決することもあるそうじゃ。つまり、子どもは、ママ・パパだけではなく、地域の大人そして社会全体で育てるってことじゃよ。

ニャオざね わかったにや！博士。さっきの言葉。にやんだっけ？ええと。。「明るい！未来！そして夢と希望！」にやんだか、わくわくしてきたにや。ニャオざね、これからみんなに宣伝しに行ってくるにや。

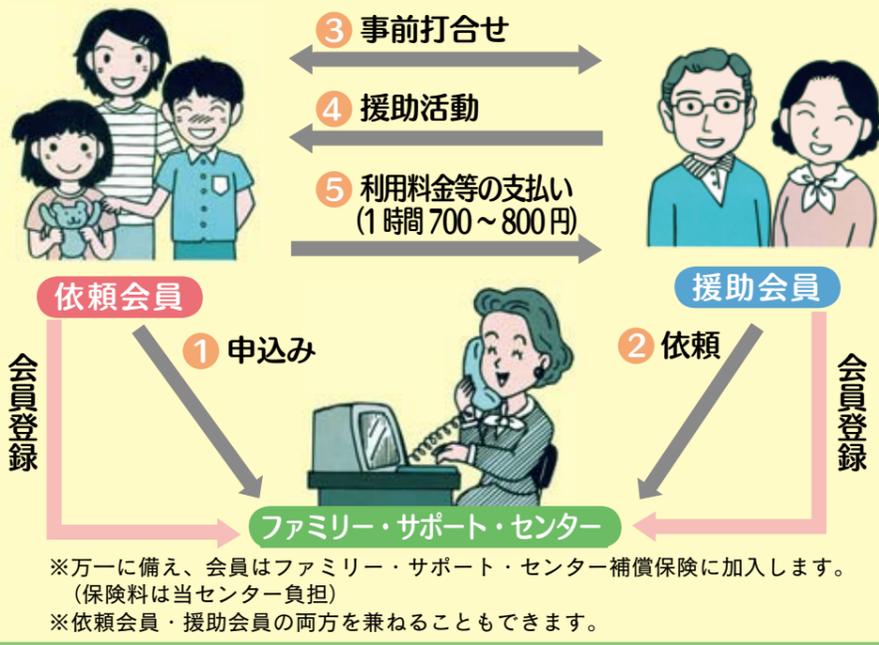


ニャオざね ©熊谷市



くま博士

ファミリー・サポート・センターのしくみ



依頼会員の子どもを預かるなんてのもOKじゃよ。ニャオざね にやるほど！けど、子どもを預かるって大変にやんだよね？

博士 そんなことはないぞ。何かあったらどうしよう！と難しく考えて、尻込みする方もいるようじゃが、保

険にも加入するし研修会もやってる。この二年間、トラブルはないそうじゃ。会員さんたちの生の声も聞いたので、紹介しよう。ニャオざねも読んでみなさい。

ニャオざね ニャーニャー！みんななんだか楽しそうだにや。子どもだけじゃなく、

依頼会員

仕事で帰りが遅い時に子どもたちを預かっていただいています。我が家から援助会員さんのお宅が近く歩いて行き来できるため、子どもたちも安心して援助会員さんのお宅で過ごせるようです。とても助かっています。

三人の援助会員の方に交代で子どもを預かっていただいております。子どもは援助会員さん宅に行くのがとても楽しみのようです。「今日は、おばさんと一緒に胡麻を擦った。」「お姉さん、お兄さんに遊んでもらった。」と楽しそうに話してくれます。とても助かっています。

仕事が朝早いので、子どもを保育園まで送ってもらっています。子どもも援助会員さんにとてもなついていきます。連絡は、主に携帯電話やメールで行っていますが、仕事で電話に出られないことの多い私にはとても助かっています。援助会員さんに感謝！感謝！です。

援助会員

週3回の「塾への送迎」を始めて一年になります。運転は少し緊張しますが、車を降りる時にきちんと挨拶をしてくれるので、うれしさと充実感、そして無事に送り届けられた安堵感でいっぱいになります。

徒歩で児童クラブへお迎えに行き、そのまま塾へ送る援助を始めて約一年になります。週に一度、楽しくおしゃべりしながら送っていきませんが、援助日以外でもばったり会うとついおしゃべりに花が咲いてしまいます。

フルタイムの仕事をやめて時間にゆとりが生まれた一年前、援助会員になりました。今は、二人の女性を定期的にサポートしています。主に登校補助と塾の迎えです。援助活動が一番感動したことは、どの家庭も子どもをおしく思っているということ。女性が一人の人間として能力を発揮し、社会に参加することが当たり前の時代になってきました。私にできることは、ほんのささやかなお手伝いですが、働く女性の肩の荷を少しでも軽くできればいいなと思います。

フォト ニュース

6月11日
妻沼南小学校の読書活動



平成22年度子どもの読書活動優秀実践校として表彰された、妻沼南小学校の特色ある読書活動を、富岡市長が視察しました。

5月30日 プロ野球イースタンリーグ公式戦



熊谷さくら運動公園野球場で、イースタンリーグ読売ジャイアンツ対ロッテマリーンズの試合が行われ、満員の観客が見守る中、試合に先立ち、富岡市長が始球式を行いました。



5月22日 リサイクルフェア

人気イベントとして定着した、環境美化センターのリサイクルフェアでは、今回も大勢の来場者が、格安の掘り出し物を探し当てようと大賑わいでした。

5月22日 植栽ボランティア



富士見中学校の生徒たちが、市民ボランティアであるフラワーキーパーさんの指導を受けながら、市役所通線と星川通線の花壇に色とりどりの花を植えました。

5月30日 国際交流バスツアー



熊谷市国際交流協会が主催した今年のバスツアーは、富士山および河口湖に出かけました。参加した99人は、楽しい1日を通して大いに交流を深めました。

5月30日 スポーツフェスティバル2010



熊谷スポーツ文化公園で開催され、彩の国くまがやドーム体育館では、埼玉県全域をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「埼玉ブロンコス」の選手たちが、小学生に指導する「バスケットボールふれあいクリニック」が開催されました。

5月20日・28日
星川通りブロンズ像、熊谷駅前直実像の清掃



日本画家の大野百樹氏も応援に駆けつけました。



図書館で募集した清掃ボランティアの皆さんが、星川通りのブロンズ像を、また、東京電力とJR熊谷駅の職員の皆さんが、熊谷駅前直実像を清掃し、輝きを取り戻しました。

5月27日 熊谷警察署小原駐在所開所式



小原駐在所が老朽化のため改築され、開所式では嶋野副市長(左から3番目)がテープカットを行いました。

6月10日 ホタルの発生数調査



江南総合文化会館ピピア南側のホタル保護区域のホタルの発生数調査が、地域住民との協働で行われました。

6月12日
第2回こうなんホテル祭り



こうなんホテル祭りが開催され、昨年にも増して多くの来場者で賑わいました。

6月13日
第91回立正大学公開講座



立正大学熊谷キャンパスアカデミックキューブで、作家の乙武洋匡氏による「自分らしく、チャレンジ!! ~オトタケ的教育論~」をテーマとした公開講座が開催され、約500人の参加者が熱心に耳を傾けました。

市報クイズ5月号で寄せられたご意見を紹介します。

おたよりパレット

テーマ **ゴールデンウィーク**

今年のゴールデンウィークは快晴が続き、お出かけ日よりでしたね。家族や友だちと旅行へ行ったり、バーベキューを楽しんだり、気分転換ができたようです。

※おたよりパレットは、市ホームページでも更に詳しく紹介しています ▶ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>

- 毎年、家族や離れて暮らす兄弟たちとバーベキュー大会を行います。普段なかなか会えない兄弟たちとの会話がとても楽しみです。(40代・男性)
- 出産予定日が連休明けだったため、今回のゴールデンウィークは実家で出産準備をしました。そして5月6日に無事、男の子が生まれました!(20代・女性)
- 今年のゴールデンウィークは、軽井沢へ娘と旅行に行きました。高速道路の渋滞もラッキーなことにうまく逃れ、お気に入りのかくれ家喫茶でおいしい紅茶をいただきました。お布団もあたたかく、心もホットになれた連休でした。(50代・女性)
- 今年のゴールデンウィークは天気がよくて最高でした。子どもが自転車の練習をばっちりしたので、乗れるようになりました!(40代・男性)
- 私の職種は不規則勤務なので、祝日は関係ないです。働きながらニュースの高速道路情報の渋滞を見て、「ゴールデンウィークは働くに限るね～」と他の職員と話して笑っていました。苦肉の策ですが(笑)。(20代・女性)

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「夏の風物詩」についてのコメントを必ず記入のうえ、7月23日(金)までにご応募ください(一人につき一通)。
※コメントがないものは無効となります。
《応募先》
〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☎ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

※なお、市内の商店・企業を知っていたらこういう趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご利用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

5月号の正解 ①宅配 ②力
◆応募総数 69 通中、正解 66 通

今月のテーマ「夏の風物詩」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

今月の問題
次の□に入ることばや数字を、それぞれお答えください。
①新しく生まれ変わる南運動場の□を募集します。
②FM-NACK□の情報番組「NACK ON TOWN」で、熊谷の情報を関東一円に発信します。

今月のプレゼント
チーズケーキのCOTSご提供の、ケーキと引換えてくれるコッツサービスチケット2枚を、正解者の中から抽選で10人に差し上げます。

COTS 所在地:肥塚933-18 電話:048-524-0988 <http://www.cots-cake.com>



発行日 平成22年7月1日 ●発行 熊谷市
編集 広報広聴課 〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1
TEL 048-524-1111(内線2006) FAX 048-520-2870

「市報くまがや」は、自治会を通してお届けします。また、市役所行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>

情熱世代 夢追い人

歌があるから私は幸せ ～舞台に立つ喜び～

皮膚科医師、メゾ・ソプラノ歌手
川口 早苗さん (妻沼東)



医師として勤務する川口さん



日に週1回、夕方5時に熊谷を出発し新宿のスタジオでレッスンを受け、夜11時に帰宅という生活

医師になっても諦められない夢
私は、熊谷市妻沼にある今や国の登録有形指定文化財となった坂田医院で、医師になるべく生を受けました。そんな私の幼少期の思い出といえば、よく自宅の2階で一人、童謡や唱歌のレコードを聞いていたことです。歌が大好きで、物心ついた頃から歌い手になるのが夢でした。

待に伝えて医師の道を歩むことに決めました。しかし、実際に医師になり結婚を経て、「本当に私の人生はこれでいいの？」と自分に問うようになったのです。そして、「もう一度子どものころの夢にチャレンジしたい！」と奮起しました。
初めて買ったドレスで
そうはいっても、音楽関係者の知り合いもいなかったのでも、まずは池袋のカルチャースクールで声楽を習い始め、そこで出会った先生から本格的に個人指導を受けることになりました。

が12年間続きました。でも、歌えることが楽しくて、辛いと思つたことは一度もありません。その間、夫には育児等本当に助けられました。
そして、ついに平成14年に熊谷文化創造館さくらめいとで、念願のファーストリサイタルを開催することができました。このリサイタルで、歌を始めたころに初めて買ったドレスを着たのです。いつかこの日のためにと夢見ながら大切にしていたドレスを、大舞台で着ることができたので、それはもう感激しました。
日本の古きよき歌を伝えたい
その後も年に1回のペースでリサイタルを行い、現在はピアノニストの小笠原貞宗先生と童謡をメインに独自の世界を作り上げています。童謡は「一人の心のふるさと」だと思えますので、皆さんへの心に潤いをもたらせたら幸いです。
次回は、「川口早苗 夏の童謡コンサート」を開催します。皆さんが明るく、元気になれるよう心を込めて歌いますので、ぜひ足を運んでください。

****川口早苗 夏の童謡コンサート****
とき 7月31日(土) 16:30 開場 17:00 開演
ところ 文化センター (桜木町 2-33-2)
入場料 無料
ホームページ <http://sing-sana.com/>

気温の上昇と共に汗をかきやすい時期になりました。特に運動中は発汗が多く、水分補給にも気をつける必要があります。

脱水症状や熱中症などを予防するために、水分の取り方に十分気をつけましょう。

日常生活でも、呼吸などから水分は放出しています。1日に1.5リットル程度の水分補給を心がけましょう。

熊谷さくら運動公園 健康運動指導士

すっきり健康

運動時の水分補給



水分補給とパフォーマンス
人間の身体は、約60%が水でできています。(男女による差はあります)
水分を失うことで、運動のパフォーマンスや身体機能にも影響が出ます。
・体重の1〜2%の水分が不足すると、運動のパフォーマンスに影響が出ます。
・体重の3%以上の水分が不足すると、熱射病や熱疲労などのリスクが高まります。

こまめに水分補給を!
運動前 ↓ 250ml
500ml (コップ1〜2杯程度)を1時間前に。
運動中 ↓ 250ml
(コップ1杯程度)を30分ごとに1回。
運動後 ↓ 体重が減少した場合は直ちに、以上を目安に水分補給をしましょう。
※特に運動中は、「のどが渇く前に摂取することがポイントです。」

アドバイス
水やスポーツドリンクなどがお勧めです。
・ 著しい発汗や激しい運動を行った場合には、塩分(ナトリウム)を含むスポーツドリンクで水分を補給しましょう。
・ 緑茶やコーヒー、お酒は、利尿作用があるためお勧めできません。
・ ジュース等の甘い飲み物は、血糖値を急激に上げることになるので、取りすぎに注意しましょう。
・ 5〜15℃のものが、腸での吸収が良いといわれています。 ◆健康づくり課 TEL 048-528-0601

人口と世帯 ●平成22年6月1日現在 (対前月比)
■人口 205,960人 (+37) 男 103,123人 (+10) 女 102,837人 (+27) ■世帯 82,357 (+74)